

# 意見

## 聴かせてください！ あなたの

市では、市の基本的な計画などを策定しようとするときに、事前に素案を公表し、市民の皆さんからご意見を伺い、寄せられたご意見を考慮して最終案をつくります。

今回は、男女共同参画社会実現に向けた、「男女共同参画都市宣言」(案)へのご意見を募集します。

市では、男女共同参画社会の実現に向け、市、市民および事業者が、それぞれの立場で、積極的に男女共同参画を推進する姿勢を示す「市男女共同参画推進条例」を、8月に施行しました。さらに市では、この条例の制定に伴い、市全体の意識の高まりを図ることを目的とした「男女共同参画都市宣言」を実施す

ることにしました。

この宣言(案)は、男女共同参画推進に関する諮問機関である「市男女共同参画推進委員会(羽田 暁 委員長)」から、答申されたものをもとに、市で調整し作成したものです。

### 【意見を出せる方】

- 次のいずれかに該当する方が、意見を提出できます。
- 市内に住所がある方
- 市内に事務所または事業所を有する方
- 市内の事務所または事業所に勤務している方
- 市内の学校に在籍している方
- 市に対して納税義務がある方
- 宣言(案)に利害関係を有する方

### 【閲覧できる場所】

次の場所で閲覧することができます。

- 伊奈庁舎 秘書広聴課
- 谷和原庁舎 市民窓口課
- 市ホームページ  
<http://www.city.tsuikubamirai.lg.jp/sec/hisyo-koukyou/pakhome/09.htm>

### 【閲覧および意見募集期間】

次の期間内に、宣言(案)の閲覧・配布(有償)および意見募集を行います。

・11月22日(月)～12月21日(火)(閉庁日も可)

### 【意見の提出方法】

閲覧場所に設置してある意見提出用紙を、秘書広聴課まで郵送、ファックス、または閲覧場所へ直接持参するか、市ホームページより提出してください。

### ●提出・問い合わせ先

伊奈庁舎 秘書広聴課  
〒300-2395 つくばみらい市福田195  
☎58-2111(内線1201)  
FAX 58-5611



羽田委員長(左)から答申書を受け取る片庭市長(右)

Vol.11

## 【11月は男女共同参画推進月間です】

市では、男女共同参画社会の実現を目指して、8月に「市男女共同参画推進条例」を施行。市民および事業者の理解と関心を深め、男女共同参画に関する推進活動が積極的に行われるよう毎年11月を「男女共同参画推進月間」に定めています。

【身近な男女共同参画について考えてみませんか?】  
あなたは、次の会話を聞いてどう思いますか?  
・家庭での会話  
①「ねえ、たまには夕飯作ってよ」  
②「いやだよ、一日中、外で働いてくたくたなんだ」  
・職場での会話  
①「課長、お茶どうぞ」  
②「〇〇さん、ありがとう。いつもごくろうさま」  
・子育てでの会話  
①「そんな抱き方じゃ、子どもが嫌がるよ」  
②「仕方ないよ、めったに抱いたことがないからね」  
これらの会話を聞いてみて、あなたはどう思いましたか?  
①は女性、②は男性と想像してみましたか?  
家庭では、男性は外で働いて、女性が家にいて家事のすべてを引き受ける。職場では、管理職などの要職はすべて男性。子育てでは、女性がするもの……。皆さんの周りの状況はどうでしょう。  
最近では、特に若い世代で、以前と比べ育児や家事に積極的な男性が増え、「イクメン」などと呼ばれています。でも、まだまだ現在の社会では、家事や育児は女性がするもの、といったような固定観念に縛られている方が多いのも現状です。  
このような固定観念に縛られず、男女があらゆる分野で個性と能力を活かし、いきいきと暮らせる社会が男女共同参画社会です。  
11月は、男女共同参画推進月間に合わせ、市では、少しでも多くの方に男女共同参画について理解してもらおうと、今年度は、中学生への出前講座や父子の料理教室を実施します。  
皆さんもこの機会に、家庭、職場、地域などでの男女共同参画について、改めて考えてみてください。

## 個性と能力を生かす社会へ

～男女共同参画コラム～

①「課長、お茶どうぞ」  
②「〇〇さん、ありがとう。いつもごくろうさま」  
・子育てでの会話  
①「そんな抱き方じゃ、子どもが嫌がるよ」  
②「仕方ないよ、めったに抱いたことがないからね」  
これらの会話を聞いてみて、あなたはどう思いましたか?  
①は女性、②は男性と想像してみましたか?  
家庭では、男性は外で働いて、女性が家にいて家事のすべてを引き受ける。職場では、管理職などの要職はすべて男性。子育てでは、女性がするもの……。皆さんの周りの状況はどうでしょう。  
最近では、特に若い世代で、以前と比べ育児や家事に積極的な男性が増え、「イクメン」などと呼ばれています。でも、まだまだ現在の社会では、家事や育児は女性がするもの、といったような固定観念に縛られている方が多いのも現状です。  
このような固定観念に縛られず、男女があらゆる分野で個性と能力を活かし、いきいきと暮らせる社会が男女共同参画社会です。  
11月は、男女共同参画推進月間に合わせ、市では、少しでも多くの方に男女共同参画について理解してもらおうと、今年度は、中学生への出前講座や父子の料理教室を実施します。  
皆さんもこの機会に、家庭、職場、地域などでの男女共同参画について、改めて考えてみてください。